

審議会等の会議記録

会議の名称	第2回 朝日町新庁舎建設基本構想策定委員会
開催日時	令和3年12月21日(火) 13時30分～15時00分
開催場所	朝日町役場 2階 大会議室
出席者氏名	<p>委員：小林 慶太郎          吉久 輝栄          東 勝久          池田 佐知子          三田 卓          山本 淑子          水谷 正秀          宮本 秀治          佐藤 修          赤塚 三重子 (敬称略)</p> <p>町長：矢野 純男          副町長：荒木 敏之</p> <p>事務局：稲垣 光政          佐藤 壽晃          田中 悟          西脇 巧          葛山 稔晃</p>
傍聴人数	2名
会議の議題	新庁舎建設基本構想(案)について
会議資料の内容	<p>資料1 庁舎建設のプロセス(説明資料)          資料2 朝日町新庁舎建設基本構想(案) (はじめに～整備方針の検討)          資料3 建設候補地の評価視点について</p>

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 庁舎建設のプロセス</p> <p>事務局：(説明)</p> <p>委員長：具体的な金額、規模は基本計画以降の話で整理していく必要がある。今の庁舎の課題をしっかりと整理して大きな方針を定めていくことが基本構想の役割であることを認識いただきたい。</p> <p>委員：今後、用地取得の可能性があるのであれば、基本構想の段階で、これくらいの敷地が必要になるだろうという共通認識をする必要がある。また、用地を取得しなくても、町有地で敷地を確保できる候補地があれば事前にその情報を共有してほしい。これから先議論していくうえで、敷地の想定は必要になってくるだろう。</p> <p>委員長：事務局準備をお願いしたい。</p> <p>(2) 第1回策定委員会での意見を踏まえた構想(案)</p> <p>事務局：(修正した箇所を中心に説明)</p> <p>委員：(資料の説明)</p> <p>事務局：(佐藤委員の意見に対する回答)</p> <p><u>1 整備の視点1. 町民に親しまれ身近に感じる視点</u> 交流スペースに関連する項目が散らばっているということですので、委員ご提言のとおり分かりやすくするために、P38付属施設・設備等の箇所に項目を設け、まとめていきたい。</p> <p><u>2 整備の視点4. 情報管理に対応した視点</u> 現在、事務のデジタル化は順次進めているところであり、AI・RPAにおいても今後、推進していきたいと考える。</p> <p><u>3 機能・仕様の検討</u></p> <p><u>(1) 行政執行の場④電算室</u> 室名は今後検討する。</p> <p><u>(1) 行政執行の場⑫その他</u> 公民館や水道課の複合については、関係者と協議を進めあり方を検討していきたいと考える。水道機器については、新庁舎に移転することは考えておらず遠隔操作になるだろう。</p>
---------------------------	--

(2) 防災拠点の場

基本計画で検討する。

(3) 付帯施設・設備等①玄関・ロビー

基本計画で検討する。

(3) 付帯施設・設備等⑤食堂

基本計画で検討する。住民利用については、交流スペースでも対応できるため、町民が利用できる場所の確保は今後、整理していきたい。

(3) 付帯施設・設備等⑩地域資源を活用した建材

「竹」の記載は「減少傾向」ではなく、「増加傾向」に修正する。

(4) 議会議場の場④議員控室

災害時は執行部と議会はそれぞれが災害対策本部を設けるため、別で考えて必要な機能を据えていきたい。災害時の情報の共有化についても併せて検討していく。

その他全般的な提案事項

専門的な方からの専門業者の意見については、基本計画・基本設計時には必要と考えるため、その際に検討していきたい。

国の交付金等については、最大限活用していきたい。

委員 長：庁舎機能は非日常の防災機能の役割も大切だが、日常の来庁者へのサービスだけでなく、職員が働く環境もしっかり整備することが大事である。職員が希望する職場環境について、職員へのアンケートは既に行っているのか。

事務局：アンケートは実施していない。しかし、昨年、各課長から職員に対し意見を集約して整備計画を策定した経緯がある。基本構想においても、同様なかたちで意見を集約することを検討し、必要に応じて基本構想に反映していきたい。

委員：今後の議場の在り方も検証していかなければいけない。普段は常に閉じられて使われていない。広く住民に開放し交流の場としての使い方も検討する必要があるだろう。

委員 長：議場も含めて、様々な室を出来るだけフレキシブルに使っていきましょうという視点は大切である。

委員：以前、庁舎建て替えのアンケートをみると、回答者の6割が建て替えに賛成となっているが、将来を考えた

	<p>ときに同じような庁舎が必要なのだろうかという疑問がある。年に何回、役場に足を運ぶのか。マイナンバーカードが普及すると、より一層足を運ぶ機会は減るだろう。住民は、そこに多額の税金を使うことに抵抗があるだろう。しかし、住民がもっと利用できるのであれば、話は別だろう。食堂や会議室などが使えるようになり、今よりもサービスが充実する庁舎であれば納得するのかもしれない。庁舎のあり方をしっかり整理する必要があるだろう。</p> <p>もう一方で防災の視点は重要であり、現地での建替えではいけないのか。なぜ移転しなければいけないのかという整理を丁寧にしたうえで議論を進める必要がある。</p> <p>委員：P13のハザードマップは大きく掲載してほしい。基本構想が今後のベースになるため、文章に記載する文言の選び方は難しい。この段階で「間伐材の使用」というように限定する必要はない。</p> <p>庁舎機能は本当に今の機能が必要なのかを考える必要がある。親しみやすい庁舎、地域交流ができる庁舎は本当に正解なのかは疑問だ。役場は住民に寄り添ってもらえる場だと考え、必要であれば相談に行く場であると考えている。過剰な機能はいらないのかもしれない。10年後、20年後本当に必要な機能は何かを捉え整理する必要がある。</p> <p>委員長：基本構想においては、必要な機能、必要でない機能をすべて精査するのではなく、必要だと思われる機能をしっかりと洗い出し、基本計画以降も含めて、精査していくイメージで認識していただきたい。</p> <p>委員：基本構想には現状の敷地面積を掲載し整理すること。</p> <p>委員：議員控室が必要か。</p> <p>委員：控室として単独で必要かは別として、議員が執務や休憩をする室は必要となるため、何かしらの設えは必要である。</p> <p>委員長：室名の検討の余地はある。</p> <p>委員：お手洗いが玄関から遠い場所にあり、使い勝手が悪いので、配置を検討していただきたい。また、窓口の受付も狭く、前のお客の内容が聞こえてしまうため、待合室の広さも配慮してほしい。</p> <p>委員：役場はさまざまな立場の方が訪れる。これからの社会にあった役場、さまざまな立場の方に優しい役場であってほしい。</p>
--	---

	<p>委員：庁舎を検討する際にさまざまな課題はあるが、職員の執務環境や、災害時において職員が従事しやすい環境であるように職員の意見を十分に反映したものとなってほしい。</p> <p>建設候補地検討の際は、敷地の検討以外にも、周辺道路などインフラ状況も踏まえ総合的に検討する必要がある。検討の際には、高台へという議論にもなるかと思うが、高齢者への配慮も同時に検討してほしい。</p> <p>委員：次回、敷地面積の資料を提示していただきたい。隣の保健福祉センターと共用で駐車場を利用しているから、それぞれの情報をいただき、現状の面積を共有していただきたい。</p> <p><b>(3) 建設候補地の評価視点について</b></p> <p>事務局：(資料説明)</p> <p>委員長：評価視点の整理と同時に、10年、20年後の町のあり方を考えたときに役場に訪れることなくサービスを受けられる仕組みについても考えておく必要があり、これを見据えたうえで、建設候補地を検討していくことが理想だろう。</p> <p>委員：朝日町のような面積が小さな町は、②交通アクセスの利便性については、公共交通機関、自家用車利用のアクセスを重視するのではなく、徒歩でのアクセスの要素が強いだらうと考える。</p> <p>⑦将来性、発展性、連携性については、まちづくりとの整合性と項目を修正すべきだろう。</p> <p>全7項目あるが、それぞれに配点し候補地を点数化し整理していくことが効果的だ。</p> <p>委員長：評価視点の内容に意見があれば事務局までお願いしたい。</p> <p>事務局：1月11日までに意見をいただきたい。</p> <p><b>7. その他</b></p> <p>(1) 第3回委員会の開催日程について(予定)</p> <p>【日時】令和3年2月下旬</p> <p>【場所】朝日町役場 2階 大会議室</p> <p><b>8. 閉会</b></p>
--	--